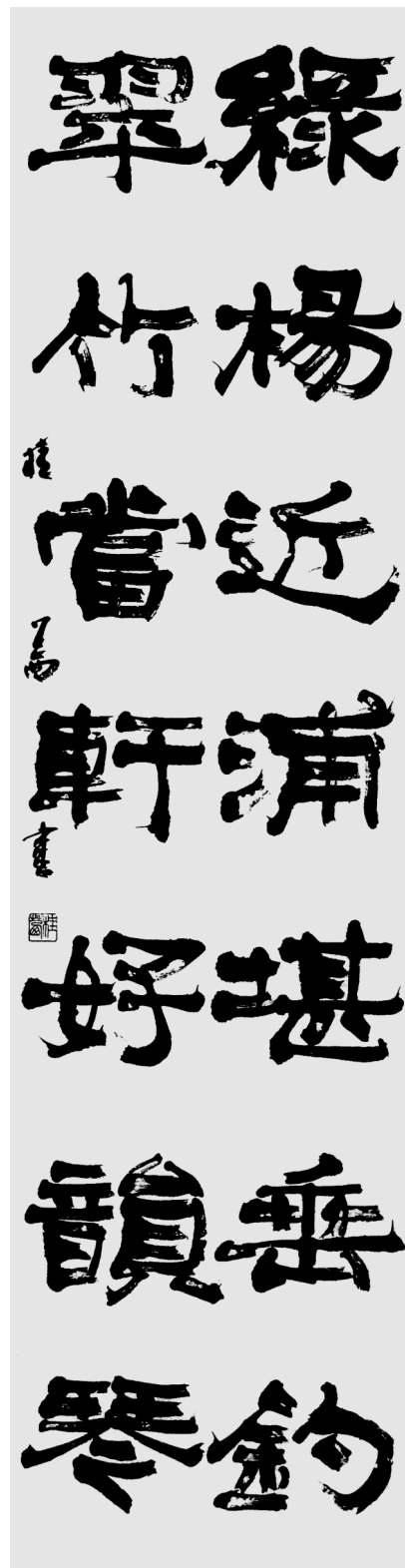




条幅規定

師範 亀井 桂茜

後漢の西嶽華山廟碑を彷彿とさせる用筆で堂々とした構えは見事。重たくなりがちな線を羊毛筆と大胆な筆圧の変化で技術的にも高い水準にまで達し表現されている。これからが楽しみである。

条幅随意

準師範 森 小筑

や、強くした横画の右上がり、攻めの積極性を感じさせ、文字の大小を大胆に、線の太細を極端につけ躍動感のある作品になりましたが重厚感に欠けます。古典から多種の線を学ぼう。

条幅随意(臨書)

師範 熊谷 壽香

強靱な線質で迫力のある作。刀意と用筆が上手く調和し、余白も美しく安定感がある。たゞ饗宝子碑の画一的でない自在な結構法、デフォルメの要素を加味すれば、さらに佳。



半紙規定

師範林 碧水

骨格のしっかりとした線で、直筆が美しい。落筆も高く動きも自然で軽快で、余白もよく響き合い、流石師範の楷書作品である。



半紙随意

師範正 上津原踏月

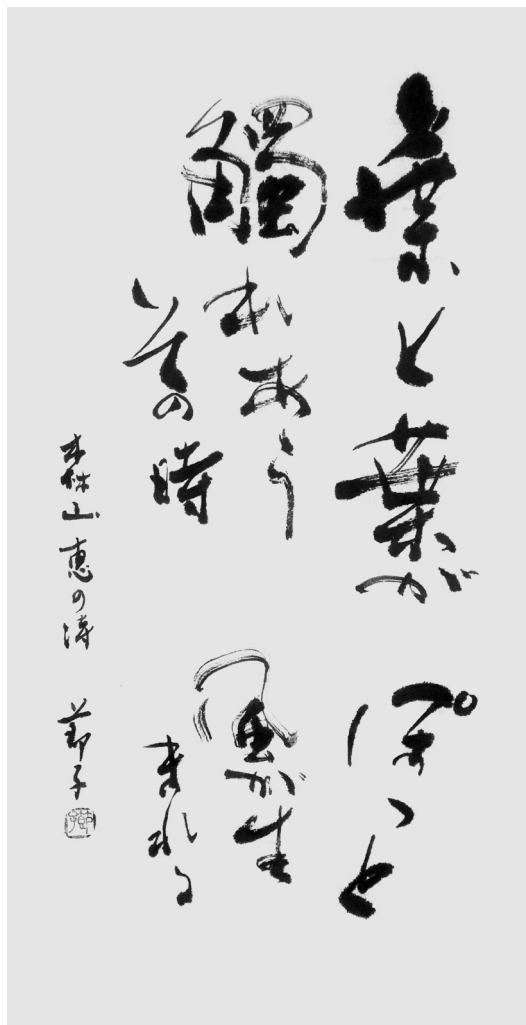
青墨と濃墨のコントラストが良く、全体の余白のハーモニーが自然で、格調の高い作品となった。この調子で踏月ワールドに期待。



半紙随意(臨書)

成家 入江 陽子

日頃の真面目な線質から殻を一枚ぬいだかのような大胆な用筆で作品に主張が感じられる。芽から花、花から実となるよう精進を。



半折1/2縦

師範正 村石 節子

詩情をどのように、規定の紙に表現するか、悩みながらの表現のようです。構成としては佳。たゞ書きこみ不足か、文字の大小、潤濁、線質が単調。手本に捕われず、自己の開花に期待する。



学生部条幅 (1/4)

中一 準六段 堀田 美咲
漢字と平仮名のバランスが良く、伸びやかに明るく書けています。名前もしっかりと練習ができていて、立派です。今後、期待大！

横山 れんや
小一 準七級
大きなさかながつれたようなげんきあふれたさくひんです。なまめじょうずにかけましたね。これからもがんばりましょう。

桑原 理沙

竹田 志帆

小二 準六級
りさんのげんきが、さくひんにあふれていて、おしゅうじのたのしさをかんじるさくひんです。これからもきたいていしています。

野間口すみれ
小四 二段
スケールの大きな「林」です。力のこもった線で、どうどうと書けました。さらに上の段位を目指してがんばってね。

宮本 詩

中島 ひなた

小四 8級
上位有段者に負けない力を持っています。基本の筆づかいができています。今後は名前の練習にも力を入れて下さい。期待大。

佐藤 千夏
小五 準二段
明るく伸びやかな線で形良く書けました。名前の練習もしっかりとできています。この調子で一枚でも多く練習しましょう。

小野 優莉

新井 希梨

山下 綾

小六 六段
迷いのない力強い線で「へん」と「ツクリ」のバランスも良く書けています。さすが上位有段者の作品です。特待生を目指して下さい。

山下 綾
中二・三 六段
真面目な日頃の練習の成果だと思えます。継続は力なりですね。特待生を目指して勉強との両立を頑張ってください。期待大！

硬筆部最優秀作品

(5月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

文化が生まれ、伝わっていく過程を、自然な状態で観察することは難しい。研究者によってある現象が発見されるのは、既にそれが文化として広がったあとのことだからだ。

二年 廣瀬 憲人

新聞には、投書や小説、料理のしょうかいなど多くのコーナーがある。あなたのお気に入りのコーナーを見つけよう。新聞を開くのが楽しみになるね。

山口 茉優

相手にきちんとしていたえるために、落としてはいけない。ことは何かを、友だちと考えましょう。

渡辺 凜佳

くまさんが、ふくろを あけました。しまった。あながかいていた。なかかひらゆうと

山田 慶之介

さわやかな季節になりました。皆様お変わりなくお過ごしのことと、お慶び申し上げます。先週の休日に家族で呼子へ出かけ、海岸線に沿って海産物の市場をめぐり、新鮮な魚が沢山並んでいました。魚好きのあなたを思い出し、ぜひぜひ現地へお送りするよう各配します。

是非、ご賞味ください。

祥 肇

新聞には、投書や小説、料理のしょうかいなど多くのコーナーがある。あなたのお気に入りのコーナーを見つけよう。新聞を開くのが楽しみになるね。

服部 怜奈

漢字辞典では、漢字を同じ部分をもつかどうかで分類し、画数の少ないものから順にならべています。

三城 未愛

たんぽぽは、花とじくを休ませて、たねに、えいようを おくります。

山田 慶之介

「魚とは、逃げた時から成長が速まる生物である」というジョークがある。逃した一匹ほど大きいものはない。悔しさが想像を膨ませ、人に話すたびに両手の間隔が広がってゆくからだ。

笹原 典子

わたしたちは、日々喜んだり、悲しんだりしています。過去をふり返って、くやんだり、将来に対して、もう少しのことで希望をもったり、反対に不安になったりします。

岸川 英憲

漢字辞典では、漢字を同じ部分をもつかどうかで分類し、画数の少ないものから順にならべています。

石田 卓三

相手にきちんとしていたえるために、落としてはいけない。ことは何かを、友だちと考えましょう。

宇都 歩輝

中平 ゆうと 小一 準6級 おてほんをよくみて、かたちよく、そしてげんきいっぱいにかけています。このちようしでたくさんれんしゅうしましょう。	山田 慶之介 小二 4級 力のこもった強い線で、一文字一文字でいねいにかけています。ペンをつかって名前までよくれんしゅうのできた作品です。	宇都 歩輝 小三 5級 エンピツの先が少し丸くなった点はおしかったのですが、一生けん命にそしてどうどうと書いています。さらにがんばってね。
渡辺 凜佳 小三 準8級 上位のお友達に負けず、お手本をよく見て、ていねいに書いています。一枚でも多く練習することが上達への近道です。	三城 未愛 小四 準1級 明るくすっきりとした線で、漢字と平仮名のバランスも良く、まとまりある作品が書けましたね。段々を目ざしてファイト！	石田 卓三 小四 6級 お手本をよく見て一文字一文字形良く書いています。今後は、行の中心が曲がらないように気をつけて書きましょう。期待大。
山口 茉優 小五 三段 ペンを上手に使いこなし、明るく伸びやかな線で全体的にバランス良く書けています。さらに上の段位を目指し、頑張ってください。	服部 怜奈 小五 二段 やや漢字が大きい点は、おしいのですが、伸びやかな線に魅力を感じます。今後は、ペンで書くことにも挑戦してください。	岸川 英憲 小六 準四段 書き始めから終わりまで、集中力を切らさず、ペンを上手に使用して、丁寧な書けよう。今後は、さらに期待しています。
廣瀬 憲人 中学 特待生 さすが「特待生」の作品です。そして、最優秀の常連ですね。継続は力なり、と思います。今後は、一般部へも挑戦しよう！	豊嶋 祥波 一般 師範 お手本をよく観察し、自己のリズムも取り入れ、自然な抑揚の変化が心地良い作品になりました。上位への挑戦に期待します。	笹原 典子 一般 準師範 気負いがなく、自然で楽なペン捌きで書かれた楷書作品です。この線を大切に自己の確立を目指して下さい。期待しています。